

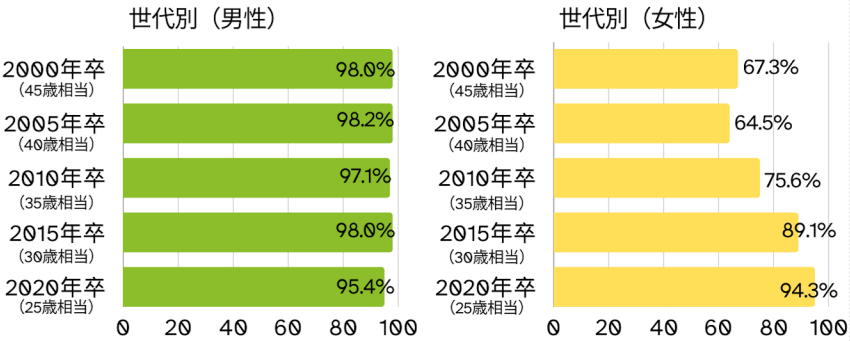
関大を卒業した社会人 4,423 人に聞いた

大学での経験と卒業後のリアル “キャリア編”

現在の就業状況

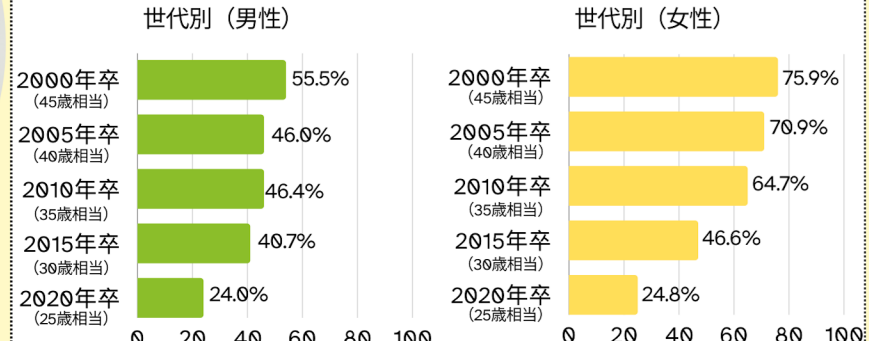
(フルタイム(無期・有期)・自営)

男性 97.5% 女性 78.6%



1回以上の転職・離職経験

男性 43.6% 女性 55.8%



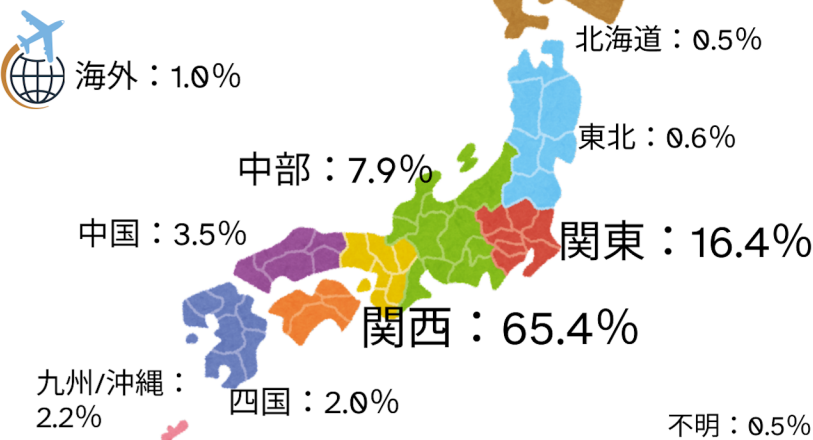
専業主夫・主婦

全体: 3.7%



2000年卒 (45歳相当) 11.8%
2005年卒 (40歳相当) 15.0%
2010年卒 (35歳相当) 13.6%
2015年卒 (30歳相当) 5.3%
2020年卒 (25歳相当) 0.3%

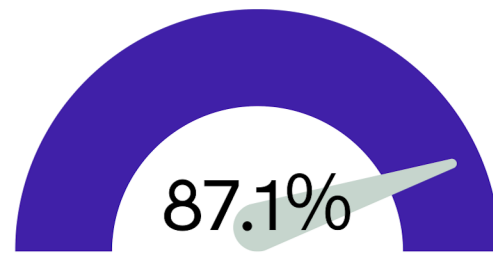
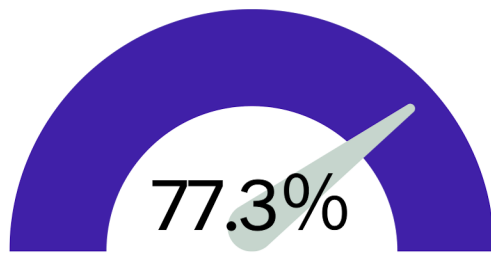
現在の居住地



現在の職場

職場・仕事に対する満足度

職場・仕事を通じた成長実感



6件法の質問。割合は、とても満足している・満足している・どちらかといえば満足しているの合計。

卒業後の

Well-beingに影響を与える大学時代の経験

Well-being: 身体的、精神的、感情的健康や社会的結びつき、経済的安定など、個人の幸福と満足度を総合的に表す概念

1. 良好な人間関係

「友人関係」「部活動・サークル活動」「アルバイト」の満足度

影響度
.34

2. 社会と接点ある学び

「実社会と接点ある学び」「自分の適性や将来への関心を知った」などの満足度

.25

3. 対話的・探究的な学び

「ゼミ・卒業研究」「プレゼンテーション」「フィールドワーク」などの満足度

.16



学生時代の主体的で、多様性ある様々な経験が卒業後のWell-beingに影響を与えています

重回帰分析の結果に基づく考察。良好な人間関係、成長意欲などの項目を「Well-being」を目的変数とし、大学での経験に関する変数を用いて重回帰分析を行った。標準偏回帰係数を影響度として表し、いずれもP<.001かつ影響が正のもの。

卒業時にあまり身につけていない &

社会人が必要だと思う能力 TOP 3



1st 発信力

自分の意見や考えをわかりやすく伝えることができる



2nd 異文化に配慮した行動

言葉や文化・社会背景の異なる人々が集まる場面において適切にふるまうことができる



3rd 価値創出の学び

自ら進んで新しいことを学ぶことができる

仕事の充実度を高める学生時代の学びとは?

✓ 関大の学是(理念) “学の実化” に基づく学び

1. 実社会と接点ある学び

2. 実社会が求める知識・経験の獲得

3. 関大の特色を生かした学び

4. 自分の適性や将来への関心を知る

学の実化: 大学は教育研究に実社会の知識や経験を取り入れ、社会は大学の学術研究の成果を取り入れることによって、「学理と実際の調和」を求める考え方

もっと詳しく知りたい方はこちら

他の項目の集計結果や分析結果は、関西大学教学IRプロジェクトWebサイトにて公開しています。検索結果または二次元コードからアクセスしてください。

関大 卒業生調査結果

